

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらりー宮校		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	わかることができるようにしている。音に敏感な児童向け
1	個別療育	マンツーマンでの個別療育を基本としている。ひとりひとりのニーズや特性に合わせてオーダーメイドでプログラムを作成し支援実施。	法人研修や1ON1面談、他事業所の取り組みの紹介などで進めている。
2	SNSを活用した情報共有	ご家庭の状況に合わせてLINEを用いてフィードバックを実施している。また、職員同士の情報共有ではミーティング時の口頭共有の他、社内用チャットツールを用いて文面でも情報を共有している。	毎年の評価表で意向を確認している。
3	職員が若手である為、児童との年齢差が抑えられ、良好な信頼関係が構築出来ている	児童の特性に合わせ、担当する指導員を固定したり、複数で担当するようにしている。楽しんでもらえるように、ゲームや工作などの時間を盛り込んでいる	職員の経験不足を埋める為に、他校舎の支援見学など、資質向上していきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内が手狭	当初は十分な待合スペースであったが、曜日と時間帯によってはフィードバック時に混雑が生じてしまっている。	フィードバックの際は待合に加えて療育室でも実施しているが、LINEでのフィードバックを活用して混雑の解消につなげていきたい
2	お子様同士の交流の少なさ	個別療育を基本としているため集団活動なく、基本1時間という支援時間も影響している。	本部主導で法改正への対応の周知があり、適切に更新を行っている。
3	防災訓練の周知不足	職員による防災訓練の周知不足（R6年度はイベント参加者で防災訓練を実施した為、参加は一部児童に限られた）	イベント活動と防災訓練の開催回数をふやしていきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室きらり一宮校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 15名

回収数 15名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	3	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	1	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3	0	1	概ね良いと思うのですがトイレが靴を履いて行かないといけないのでできればすぐ行ける場所にあればいい。	ご不便おかけし申し訳ございません。構造上このようなカタチとさせて頂いています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	1	0	加湿器の水がよく無くなってるので、空気清浄機の意味が無いかと…。	細かい処まで気にして頂きありがとうございます。朝の清掃時に給水するように心がけています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	4	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2	1	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	7	3		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	4	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	3	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	4	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	4	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	8	0		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	3	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	4	2	5		一宮校のHP内のブログを毎月更新させて頂いています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	4	2	5	一通りの説明は丁寧を受けていますが訓練に参加したことはありません。	事業所内で社員研修として実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	3	2	8	避難訓練をしているという説明は受けた気がしますが、まだ訓練に参加したことはありません。	事業所内で社員研修として実施しています。イベントとしてお子様にも参加して頂く機会も設けております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	3	0	5		安全計画を作成し職員への周知を図っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2	1	4		事故発生時のマニュアルで万が一の事態に備えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室きらりー宮校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別療育が実施できるようお子様と職員が1:1で関わることができるスペースを確保している。	特定の曜日と時間帯によってはフィードバック時に待合スペースが混雑することがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		一日の定員数と職員配置は、国の基準となるように留意して調整しています。	定員数に対する職員の配置は適切であるが業務負担感から、適切に感じられない時期がある。追加採用を進めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		幼児用の机と椅子で小さなお子様でも安心してもらえるような配慮をしている。	玄関に段差がある。 トイレに行くために靴を履く必要がある点を気にされる意見があった。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育室は装飾等を無くし、視覚刺激を少なくしてお子様が集集中しやすいような環境にしている。	消防法に対応した造りのため他の支援の音が聞こえる事を気にされる利用者様が見える。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		職員とお子様と1:1で関わることができるようにしている。音に敏感な児童向けに完全個室も1室ある。	にぎやかな時間帯は、個室でも完全な無音にはならない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		法人研修や1ON1面談、他事業所の取り組みの紹介などで進めている。	特に問題なし。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年の評価表で意向を確認している。	混雑時の対応など改善が難しい点が残されている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員ミーティング内で情報共有や相談しながら日々の業務を行っている。	特に問題なし。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	社内で内部監査を1年に1回以上実施している。	現在のところ第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内の研修ならびに外部の研修、その他資格取得の研修を受講している。	職員の業務負担から外部研修の受講ハードルが高い。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所HP内ブログ記事にて公表している他、事業所内で掲示している。	社内の事業所で公表方法を統一していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		本部主導で法改正への対応の周知があり、適切に更新を行っている。	さらなる改善を図りたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画書は、児童発達支援管理責任者と直接支援に係る職員間で話し合いながら作成している。	特に問題なし。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画、専門的支援実施計画を参照してから支援を実施している。	特に問題なし。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		複数職員が確認し、理解を統一している。	特に問題なし。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援における5領域に対応した支援目標を定め、また家族支援や移行支援に関しても適切な目標を定め実施している。	「地域支援・地域連携」が課題。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		指導員同士で相談するなどして活動プログラムを立案している。	特に問題なし。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	親御様からの要望と児童の様子を踏まえ、児童に合わせた内容に取り組めるよう支援している。	特に問題なし。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別活動を主で支援を実施している。タイミングに応じて集団活動も取り入れている。	個別活動が主であるため集団活動の機会は少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	ミーティングで事例検討したり、担当同士で申し送りを行っている。	打ち合わせの機会が流動的。固定化していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌朝のMT（緊急時は当日中）に共有している。また、社内チャットツールを用いて書面でも記録を残している。	特に問題なし。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	ツールアプリを活用して記録を作成している。また、社内他校舎と記録の書き方、残し方について話し合い必要に応じて改善を行っている。	特に問題なし。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年毎に必ずモニタリングを実施している。	特に問題なし。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	サービス担当者会議に児童発達支援管理責任者が出席している（タイミングが合えば指導員も同行している）	特に問題なし。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	検査結果や診断書など必要に応じて保護者様から共有いただいている。また、保育園訪問等も必要に応じて実施している。	医療機関と直接連携はできていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	希望のあった児童に関しては保育園訪問を実施し情報を共有している。	児童（保護者）都合によるバラツキがある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者様からの相談に応じています。また、希望のあった児童には保育園訪問を実施し情報を共有している。	児童（保護者）都合によるバラツキがある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	適時相談・連携しています。また、紹介を受けた研修会に参加しています。	特に問題なし。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	機会無し。	利用者、きょうだい児を除くお子様と関わる機会が無い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援終了後に保護者様とフィードバックを行っている。必要に応じてLINEにてフィードバックを実施する場合もある。	特に問題なし。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	個別の相談支援を適宜実施しており、適時情報提供している。	家族支援の実施状況にバラツキがある。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時や受給者証更新時に利用上限月額が変更になった家庭に対しては必ず確認をしようとしている。	特に問題なし。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	保護者様のニーズや児童の様子を踏まえ個別支援計画を作成している。	特に問題なし。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画は保護者様に説明を行い直接同意を得ている。	特に問題なし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		来所時に最近の様子を確認し、必要に応じて家族支援につなげている。	家族支援の実施状況にバラツキがある。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会の開催はしていないが、保護者同士の交流を肯定している。また、きょうだい同士での交流は日常的にサポートしている。	保護者同士の交流は自発的な意思にお任せしている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いただいた相談は職員間で必ず周知している。	特に問題なし。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログを運用し発信している。	特に問題なし。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫等で保管している。	特に問題なし。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々に配慮している。	特に問題なし。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		要望があるようであれば実施を検討したいと思います。	受け身姿勢であること。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員への周知を徹底している。会議(研修)を実施し訓練とみなしている。	社内で標準化されていない。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		備蓄品の点検や職員向けの防災訓練を実施している。	特に問題なし。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメントにて確認している	特に問題なし。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時のアセスメントにて確認している(通常は食事の提供がない)。	特に問題なし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を周知している。また、各部屋にヘルメットを設置している。	特に問題なし。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先を把握している。	特に問題なし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		実施している。	特に問題なし。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		最低年間2回以上の研修を実施している。	特に問題なし。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		研修の実施に加え、必要な場合にはご家族に相談をし了承を得る事としている。	特に問題なし。